

## 初山別村地球温暖化対策実行計画の点検について

### ◆初山別村地球温暖化対策実行計画第4章2に伴う点検

平成18年度（基準年度）と平成30年度の温室効果ガス排出量（CO<sub>2</sub>）を比較したところ、次のとおりの結果となった。

CO<sub>2</sub>比較表

（単位：Kg-CO<sub>2</sub>）

	H18 計画	計画修正	H30 実績	差 引	%（差引÷計画修正）
CO <sub>2</sub>	1,143,844	1,053,122	963,662	△89,460	△8.5%

CO<sub>2</sub>は、基準年と比較し、8.5%の減となった。

### ◎分析

（単位：Kg-CO<sub>2</sub>）

	H18 計画	計画修正	H30 実績	差 引	%（差引÷計画修正）
ガソリン	30,382	30,382	20,961	△9,421	△31.0%
灯油	331,813	279,117	273,046	△6,071	△2.2%
軽油	52,059	52,059	73,193	21,134	40.6%
重油	120,037	120,037	2,306	△117,731	△98.1%
ガス	1,566	1,487	1,617	130	8.7%
電気	607,987	570,040	592,539	22,499	3.9%

- ・電気利用量及び灯油使用量の増加に伴い CO<sub>2</sub> 排出量が増加した。これは平成28年10月より繋小屋の利用が開始されたことが原因であると考えられる。
- ・軽油は、特殊車両等の軽油を燃料とする車両の使用頻度増加（特に1月～3月）に伴い燃料使用量も増加した。
- ・重油は平成21年以降、ストーブを重油式から灯油式に移行したため、使用頻度は少なく CO<sub>2</sub> 排出量も少ない。

※参考（H18 計画策定時に未稼働の豊岬浄化センターを除く値）

CO<sub>2</sub>比較表

	H18 計画	計画修正	H30 実績	差 引	%（差引÷計画修正）
CO <sub>2</sub>	1,143,844	1,053,122	925,490	△127,632	△12.1%

### ○対象

- ・村が管理する公共施設（指定管理施設は除外）、公用車

## 平成 18 年度と平成 30 年度の温室効果ガス排出量の比較

	H18 計画	計画修正	H30 実績	差 引	% (差引 ÷ 計画修正)
CO <sub>2</sub>	1,143,844	1,053,122	963,662	△89,460	△8.5%

▽基準年度（H18）と比較し、温室効果ガス排出量は 8.5%減少となっている。

	H18 計画	計画修正	H30 実績	差 引	% (差引 ÷ 計画修正)
総務課	199,360	108,638	128,704	20,066	18.5%
住民課	28,837	28,837	28,150	△687	△2.4%
経済課	375,331	375,331	438,359	63,028	16.8%
教育委員会	540,317	540,317	368,449	△171,868	△31.8%
合 計	≒1,143,844	≒1,053,122	963,662	≒△89,460	△8.5%

▽基準年度（H18）と比較し、総務課と経済課において、CO<sub>2</sub> 排出量が増加。

▽教育委員会は平成 18 年に存在していた学校の閉校により、CO<sub>2</sub> が大幅減少したと考えられる。

▽総務課は繫小屋（旧克雪管理センター）の担当となったため、CO<sub>2</sub> 排出量が増加した（主に電気使用による）。

### ※分析（主な増減）

▼ガソリンは、全体で 9,421 kg-CO<sub>2</sub> が削減された（4,057.5 L 削減）

▼灯油は、全体で 6,071 kg-CO<sub>2</sub> が削減された（2,438.3 L 削減）

▼軽油は、全体で 21,134 kg-CO<sub>2</sub> が増加した（8,069.4 L 増加）

▼ガスは、全体で 130 kg-CO<sub>2</sub> が増加した（43.0kg 増加）

▼電気は、全体で 22,499 kg-CO<sub>2</sub> が増加した（40,538kwh 増加）

### 電気使用量（kwh）

	H18	H30	差 引
総務課	84,574	98,344	13,770
住民課	20,658	19,751	△907
経済課	516,340	654,468	138,128
教育委員会	405,527	295,074	△110,453
合 計	1,027,099	1,067,637	40,538

▽住民課の電気使用量の減少および総務課の増加は、繫小屋（旧克雪管理センター）の担当が住民課から総務課に変わったことと、繫小屋内のカフェが営業開始したことによると考えられる。

▽経済課の電気使用量の増加は、浄水場の増設・運転時間の増加によるものである。

▽教育委員会の電気使用量の減少は、H18年時点に存在した学校が閉校したものである。